

第 47 回理事会 議事録

日時 令和 2 年 1 月 18 日（土） 15 時 00 分～17 時 00 分

場所 旬味割烹飯豊

参加理事 22 名

佐藤裕邦 高木知里 高橋則好 高瀬博行 鈴木真祐美 番場一郎 佐藤郁子
吉田美智子 星川友厚 青木和弘 高橋英一 星川知佳子 村上郁子 村山正市
椎名 敏 吉田京子 高橋秀典 柳谷理恵 菅原麗子 菅野康夫 佐藤温子
佐藤知生

欠席理事 10 名

伊藤喜久子 星利佳 荒井晋一 丹野克子 阿部淳士 伊藤欣弥
佐々木孝 平真一

欠席監事 2 名

峯田幸悦 菊池 忍

オブザーバー参加

事務局長：竹田征子 事務局次長：藤橋佳代子 長寿社会政策課課長補佐：山口仁

1. 開会 菅原麗子総務委員長

2. 挨拶

佐藤裕邦会長：2 月になってやっと研修会開催可能。各理事は精いっぱいやってくれて
いる。今日は重大な件の審議よろしくお願いしたい。

山口補佐：12 月 6 日に意見交換させて頂いた。ケアマネ協会が課題に直面しているこ
とは間違いない。県の立場でできるかぎり、支援したい。

3. 内容

(1) 各委員会の報告について

① 総務委員会

特になし。事務局の援助で賛助会員へ入金のご案内をした。

② 財務委員会

出納についてはバイトと事務局で行ってもらっている。受託研修のまとめ作業
を現在は実施。研修会の支出明細が分かり次第連絡を欲しい。

各地区支部への助成金の振り込み先をあらためて確認させて頂く。

③ 広報委員会（資料 1）

通信 32 号の原稿収集中。2 月 29 日研修会後に封入作業予定。昨年度の賛助会

員へも送る。

ホームページに議事録のページを追加した。また、「居宅介護支援事業所の管理者要件等に関する審議報告(12月17日:社会保障審議会介護給付費分科会)」と12月27日の介護保険部会審議内容をホームページに掲載する。

④ 主任ケアマネ委員会 (資料)

2月29日(土)研修会案内した。50名程の申し込み状況。

実態把握調査については研修会のアンケートや反応を見て今後進めていきたい。

⑤ 法定研修サポート委員会 (資料2)

現在、実務者研修のファシリテーターの依頼を受けている。

講師指導者養成研修会(10月8・9日):12名が修了。

ファシリテーター養成研修(11月23日)

修了者・県ファシリテーター登録者12名

⑥ 専門職連携委員会

2月1日(土)の研修会は申し込み85名となり、締め切った。

14の専門職団体推薦理事にアンケートをし、今後の方向性を検討していきたい。

⑦ 会員サポート委員会

掲示板での相談への回答が今回遅くなっていたことへ、クレームあり。会費値上げへの反対意見もあり。

(2) 各地区支部の報告について

① 山形地区支部 (資料)

第4回スキルアップセミナーを天童にて開催。3月役員会予定。

② 最上地区支部

11月で研修修了。2月1日(土)の多職種研修会是最上地区で窓口実施。

③ 庄内地区支部 (資料3)

ケアマネ大会実施。本年度3回目の研修会。障がい分野との共同にて開催。

④ 村山地区支部

10月19日(土)ケアマネんぼの会開催。今後は西村山医師会研修会へ参加予定。

⑤ 置賜地区支部 (資料4)

11月30日(土)研修会。講師阿部充宏氏。ケアプラン点検について。

参加者98名(会員63名、非会員35名)。

(3) 新規入会者の承認について (資料)

資料の通り承認された。

(4) 次年度会費について

以下のような意見が交わされた。

・消費税の増税分に加え、現在の事務局体制(月・金午前にバイトあり)にプ

ラスし、毎日の体制を考えると会費の値上げは必要。今年度の財務状況は研修会の終了で見えてくるが、現在事務局長や財務担当者が有給を取得して作業を負担している状態。

- ・消費税増税は確実に会の支出が増額する。この対応も検討すべき。
- ・この会をどのようにしていきたいか（事務局体制も含めて）が重要。
- ・一般社団法人格を放棄すると登記上の手間はすくなくなるが、県等の委託事業を受託する際にはネックになる。
- ・日本協会の会員数を一部にして負担を軽くするという方法もあり。だが、日本協会を含めた職能団体全体という点においてはそれでいいのか。
- ・どのような事業をしていくのかということをしかりとプレゼンし、きっちり実績を作っていくことが大事。
- ・次年度は現体制でもまだスムーズに会務運営ができると思う。その実績を積んでから会費の値上げをするのはどうか。

⇒結論：1,000円の値上げを提案する。

総会は臨時総会とし、3月14日（土）の午後とする。

(5) その他

- ・県山口補佐との懇談会（12月16日）の内容について
山口補佐より：意見交換をさせて頂いた。何をするのかということ在意義付け、きちんとなすことが大事。お金の話ではなく、県の事業として今後は色々やっていきたいと思っている。その中でケアプラン点検もあり、これは令和3年度以降になりそうだが、ケアマネ協会に関わってもらいたい。
- ・日本介護支援専門員協会 地域包括支援センター部会報告（資料）
資料にて確認。次回部会が3月22日（日）に東京で予定。
- ・研修実施機関に対する講師・ファシリテーターの推薦のあり方について
老施協からは電話にて依頼あり、詳細は明らかではない。県社協より協会へ、今回の実務研修・更新再研修のファシリテーター推薦依頼があり、委員で推薦者へ連絡調整中で案を作成し、理事会へMLで承認していく。
今後、県の名簿登載もあり、協会での推薦で行くのか検討が必要。
- ・3月14・15日日本協会居宅介護支援事業所管理者研修、講師指導者養成研修の出席者県より推薦1名（県で旅費を確保済み）、協会より1名（協会予算から支出が必要）。常務会にて検討していく。

4. その他

- ・次回理事会の開催について

日程 令和2年3月14日（土）13時30分～ 場所 ビッグウイング

5. 閉会

記録者 佐藤知生